

# 庶民が見た朝鮮通信使

## —尾張路での善隣交流から—

2017年秋、朝鮮通信使の記録がユネスコの世界記憶遺産に登録されました。全333点のうち日本所在は209点。名古屋からは蓬左文庫の4点が含まれています。登録までの5年間、両国の関係機関で共同調査が行



われ、見解の相違を乗り越えて「誠信の交わり」の精神で共同申請を成し遂げた成果であり、「善隣交流」のあり方を考える上で大きな意義があります。しかし、通信使の実像について、あまり知られていないこともまた実情ではないでしょうか。

今回は愛知県歴史教育者協議会会員の堀崎嘉明氏を講師にお招きし、尾張藩士で当時の世情を多くの絵に残した猿猴庵が描いた通信使や、あるいは通信使を模倣した東照宮祭の練り、名古屋に残る通信使の絵巻などを通して、その実像の一端をお話していただきます。

講師

堀崎嘉明(ほりさき・よしあき)氏

愛知県半田市生れ／愛知県立高等学校教諭、社会科担当／退職後は主として鳴海地域史研究に当たる／愛知県歴史教育者協議会会員  
著書に「朝鮮通信使、尾張路の旅」、「続 朝鮮通信使、尾張路の旅」など

日時

2月9日(水) 18:00~19:30(予定)

申込

イベント告知・募集サイト「こくちーずプロ」にて受付中

1) 会場参加(愛知韓国人会館・先着50名・500円)  
<https://www.kokuchpro.com/event/kjforum58/>

2) オンライン参加(YouTube Live配信・無料)  
[https://www.kokuchpro.com/event/kjforum58\\_web/](https://www.kokuchpro.com/event/kjforum58_web/)



主催

韓国民団愛知県本部／フォーラム実行委員会

後援

駐名古屋大韓民国総領事館／在外同胞財団